

保護者の皆様

令和5年10月6日

川崎市立岡上小学校  
校長 岩倉 義則

### 令和5年度 川崎市学習状況調査、全国学力・学習状況調査 結果の概要と今後の取組について

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。4月12日（水）に行いました4～6年生対象の川崎市学習状況調査の結果と、4月18日（火）に行いました6年生対象の全国学力・学習状況調査の結果をご報告します。本校では学校教育目標（育成を目指す資質・能力、目指す児童像等）の実現に向け、日々の教育活動に取り組んでおり、今後は本調査結果を生かした取組をさらに進めてまいります。なお、本調査によって測定できるのは児童の実態の一部であり、学校における教育活動の一側面ですので、本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えください。また取組の様子は、今後の学校だよりや学年だより、学校報告会や説明会等でもお伝えします。

#### 学校教育目標 「つよい子 正しい子 ほがらかな子」

- 【つよい子（確かな学び、くじけぬ心、健康体力を培う）】主体的な学び合いと習得・活用・探究を通じた質の高い学習の実践
- 【正しい子（人と地域と自然と共により良く生きる基盤を培う）】人と地域の自然とに主体的に関わり、その良さを生かす学習の推進
- 【ほがらかな子（自他を認め、尊重する豊かな人間性を培う）】人権と多様性を認め、尊重することを基にした学習、児童理解と支援の推進

#### レーダーチャートの見方

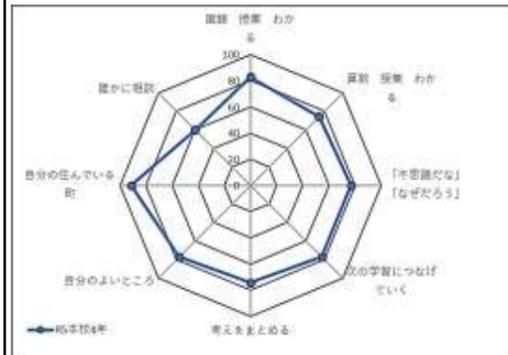
- 「国語 授業 わかる」…国語の授業がわかる。
- 「算数 授業 わかる」…算数の授業がわかる。
- 「不思議だな」「なぜだろう」…ふだんから「不思議だな」「なぜだろう」と感じることもある。
- 「次の学習につなげていく」…わかった点・わからなかった点を見直し、次の学習に繋げている。
- 「自分のよいところ」…自分には、よいところがある。
- 「自分の住んでいる町」…自分の住んでいる町が好きである。
- 「誰かに相談」…不安や悩み、ストレスがあるとき、誰かに相談できている。
- 「考えをまとめる」…調べてわかったことをもとに、考えをまとめることができる。

### 令和5年度 川崎市学習状況調査 4年生

「国語の授業がわかる」の項目では、82.9%の児童が「わかる」と答えています。今後も漢字の学習や熟語の意味調べなどの学習の積み重ねや叙述を元に登場人物の気持ちを読み取ったり、学習課題についてみんなで考えを出し合ったりする活動を取り入れていきたいと思います。

『ふだんから「不思議だな」「なぜだろう」と感じる』の項目では、77.1%の児童が肯定的な回答をしています。引き続き、つぶやきを基に調べる活動を取り入れた学習を進めていきます。一方で、一つの疑問が解決するとその結果に満足してしまい、更に広げたり深めて考えたりするところには課題があります。児童が興味をもって学習を深めることができる取組を行い、次年度は1ポイントの増加を目指します。

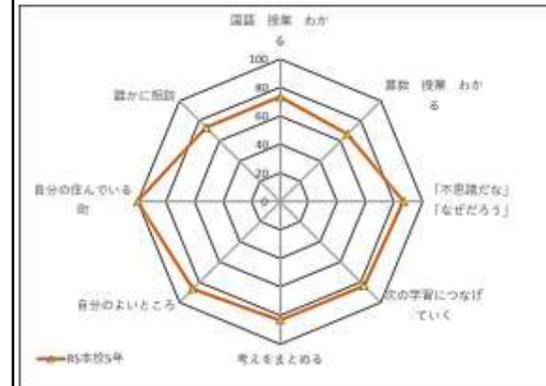
「不安や悩み、ストレスがあるとき、誰かに相談できている」の項目では、60%の児童が肯定的な回答をしています。自分から相談できる児童が見られる一方、誰かに悩みを打ち明けることをためらったり、うまく自分の気持ちを話せない・相談することができなと感じたりしている児童もいるようです。「SOSの出し方・受け止め方教育」など「自分の思いを伝えてよい」と感じることができるよう、話やすい関係づくり・学級づくりを丁寧に行い、学校全体で児童を見守っていききたいと思います。



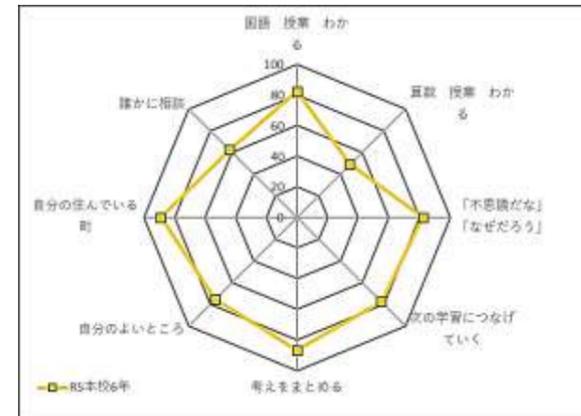
### 令和5年度 川崎市学習状況調査 5年生

「国語の授業がわかる」の項目では、73.3%の児童が、わかると答えています。今年度、国語の学習では、読みに重点を置いて取り組んでいます。文章を読み、自分の考えをもち、他の児童との考えを比べる活動を行います。また、再確認する語彙が少なく読み取りが難しい場面が見られるので語彙を増やすことを行い、次年度は「国語の授業がわかる」がさらに1ポイント増加することを目指します。普段から「不思議だな」「なぜだろう」と感じる児童の割合は、86.7%でした。授業だけでなく日頃から、物事を探究する姿が見られている反面、指示を待ち、言われたことに取り組む姿も見られています。さらに多くの児童が探究できるように今年度は、学習問題や教材との出会いを大切にし、問題を解決する場面を増やしていくことで、更に探究心を高めて行きたいです。

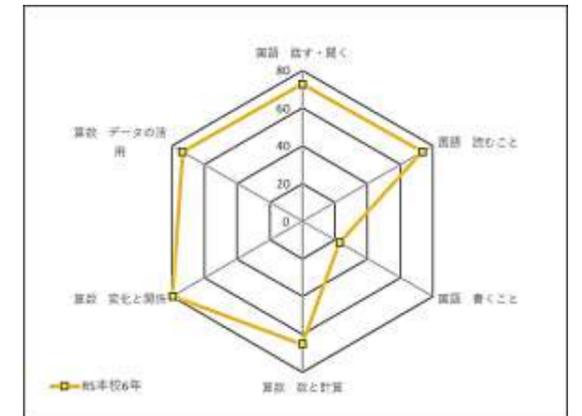
「不安や悩み、ストレスがあるときに誰かに相談できている」は62.6%です。高学年になり、自分の悩み事を人に話すことをためらうようになることがあります。「SOSの出し方・受け止め方教育」などで取り組み、普段から自分の思いを伝えることの大切さを感じることができるように行っていきます。



### 令和5年度 川崎市学習状況調査 6年生



### 全国学力・学習状況調査 6年生



市の調査「国語の授業がわかる」の項目は、82.2%でした。全国調査「書くこと」は、他の項目と比べ値が低く、課題として挙げられます。国語科だけでなく各教科の授業でも自分の考えを書く活動を積極的に取り入れるなど、児童が抵抗感なく書く活動に取り組めるような手立てをとっていきます。

市の調査『ふだんから「不思議だな」「なぜだろう」と感じる』の項目では、平均を大きく上回る結果となりました。理科や総合的な学習の時間の中で友達や地域の方々と学ぶことを通して自然と向き合う時間が確保されている本校ならではの活動の成果だと考えます。今年度もこれまでの取組を継続するとともに、児童が小さなことに目を向けて探究心がもてる学習課題を設定します。

市の調査「不安や悩み、ストレスがあるとき、誰かに相談できている」の項目は、62.2%でした。多感な時期でもあり、人に打ち明けることを躊躇しがちです。学校では、どんな大人でも味方であり続けることや誰かに話をしてほしいということを伝えていきます。また、支援教育コーディネーターや巡回カウンセラーとも連携を図っていきます。卒業・進学を控えている学年でもあるので、子どもたちがこれからの未来に希望をもって進んでいけるよう将来について考える時間も設けていきます。